

(4) 電子申告及び申請手続きの状況等について

実施 状況	ア システム部会の開催 令和6年度のシステム部会を次のとおり開催し情報交換を行った。 日時：令和7年3月17日（月）午後4時から 場所：大阪市役所6階 財政局5・6会議室 イ 情報交換の概要 議題：1 電子申告及び申請手続きの状況について 電子申告及び電子申請手続きの利用状況について、令和5年度の実績を共有した。 大阪市は、令和7年度末までに、行政事務のオンライン化が確実にできるように取り組んでいる。 大阪府においては、令和5年4月より、インターネット申請・申込サービスから行政オンラインシステムに移行した。 議題：2 機器更新の状況について 税システムにおけるサーバ機器や端末機等の更新状況や課題を共有した。 大阪市は、令和7年12月末をもってサーバ機器及び端末機がリース満了となる。機種更新にあたっては、仮想化技術など最新技術を積極的に利用する調達としている。 大阪府においては、令和7年1月に新サーバに移行した。また、令和8年3月に端末機及びプリンタを更新し、端末機については、ノート型からデスクトップ型に変更することとしている。 議題：3 eLTAX 更改に係る対応状況について 令和8年9月以降に予定されている第5期 eLTAX 更改に係る税システムの対応状況やリリース時期等を共有した。 大阪市においては、令和8年9月以降、更改時期に合わせてシステム改修を行う予定としているが、一部の改修案件については、ベンダーの要員不足を踏まえ、リリース時期を調整している。 大阪府においては、令和8年9月稼働予定。 議題：4 システム更改について（標準準拠システムの対応状況） 大阪市においては、標準準拠システムへの移行について、対応可能な事業者が存在しないことから、令和11年1月移行を見送ることとした。 大阪府においては、令和13年1月のシステム更改に向け、令和6年度から契約したコンサルティング業者と現状の事務やシステムの課題等を分析し、次期税システムの基本構想を策定した。
----------	--

	議題：5 外字の取り扱いについて 大阪市は、令和8年1月に独自文字から国が定める標準文字に移行する。移行にあたっては、標準文字以外は使用しないことを原則とする。 大阪府においては、外字の登録文字数が約 1,800 文字、利用件数が納税者ベースで約 85,000 件あるものの、廃止を検討しており、令和7年4月以降は新たな外字を作成しないこととしている。 議題：6 その他 RPA 利用拡大による業務の効率化など、大阪市における DX の取り組み状況について情報を共有した。
今年度の取組	申告・申請対象手続きや公金納付のデジタル化、システム更改、標準準拠システムの動向等、システム部会を通じ、引き続き情報交換を行っていく。